

広 報



さくら

第62号

令和 6年 2月 1日発行

発行 小千谷さくら病院

脳神経難病センター

編集 小千谷さくら病院 広報委員会

新年のご挨拶

当院は社会福祉法人長岡福祉協会が運営する病院です。

福祉協会が運営する病院として恥じる事のない医療を実践していきたい

と考えています。2023年7月悲願であった新病棟が完成しました。

私たちは、この仕事を選んだときの初心に戻って創意工夫をし、職員皆で、温かな病院を目指しています。

神経難病患者様に、安全安心な入院生活を提供することが第1目標です。感染を予防し、褥瘡をつくらず、適正な栄養を提供すること、新しい治療法が確立されるまで可能な限りよい状態を保っていただくよう努力します。慢性の病気ですので入院も長期にわたりますが、その分十分な症状の把握が可能となります。病状が変化した際にはご本人やご家族の意思を尊重して、できるだけ医療処置を行います。そのためにもご家族とは定期的な話し合いをもちます。ご意見ご提案はいつでも歓迎いたします。

スタッフは率先して口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎を予防しています。食べる楽しみを可能な限り提供できるよう心がけ、リハビリも積極的に行っています。

見る、聞く、話す、立つ、というごく当たり前の行動で、温かさを提供するユマニチュードという接し方を重視しています。意識の持ち方により皆が習得できる方法です。患者様に温かな気持ちで接することができるよう私たちは努めています。

縁あって私たちは入院患者様と共にこの病院で生活を送り、共に人生の一時期を過ごしています。ご家族のご協力を得ながら、患者様に少しでも安心していただけるような医療・看護・介護を実現し実践することを目指します。社会のエッセンシャルワーカーとしての役目を自覚し、社会に貢献します。

まだ、病院としては道半ばです。外来棟、管理棟、第1病棟の老朽化に直面しています。地域の方々への医療の提供も十分とはいえません。

実績を積み上げながら早急に第2期工事への計画を練っていきます。

そのためにも皆様のいっそうのご協力をよろしくお願いいたします。



院長 山崎 元義

小千谷さくら病院の理念

自分なり家族や友人が利用したい病院づくり

新年のご挨拶

第1病棟

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は7月に病棟移転がありました。建設用防音シートが張られたうす暗い窓景から、広々とした明るい病棟という印象ではないかと思えます。新棟建築と旧棟解体という散歩も出来ず限られた環境の中でも、野菜・稲作、収穫と様々な場面で患者様に参加してもらい四季を感じて頂きました。普段見られない表情や笑顔、声が出たりと職員のやりがいにも繋がります。また、旧1病棟解体前には感謝を込めて廊下や病室の壁に患者様と共に絵を描きました。なかなか素晴らしい力作揃いの1病棟美術館となりました。

病棟の構造も変わり、特殊浴槽もミスト浴槽に変わり（好評）、患者様個々の病室環境も変わりました。ご不便をおかけする事もあるかと思えますが、お気付きの点はぜひお声がけください。患者様・ご家族様がさくら病院に来て良かったと思えるように、安全安心な療養生活を送って頂けるよう職員一同努めて参ります。今年もよろしくお願いいたします。

第1病棟看護長 大塚 明美



第2病棟

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年7月に新しい病棟に移転しました。以前は50床の病床数でしたが、移転に伴って60床の病棟となりました。10床増えた分とても広く感じています。患者様にとって快適な環境となった今、より安全で安心な療養生活が送れるように、スタッフも気持ちを新たに日々奮闘しています。

面会制限が緩和され、患者様・御家族様の会える喜びを日々感じています。レクリエーションも徐々に行っています。昨年は、飾りつけや焼き芋、音楽会等を行いました。患者様が楽しんでいる姿を拝見すると私たち職員も嬉しく感じます。今後も患者様の笑顔を少しでも多く引き出せるように、患者様・御家族様の声に耳を傾け、思いに寄り添いながら関わっていきたくと思います。

本年もよろしくお願いいたします。

第2病棟看護長 田中 紀子



第3病棟

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年7月に新棟の3階に移り病棟の構造に慣れず戸惑うこともありましたが、半年経った今患者様や職員も慣れてきたように思います。

ただ、以前のように食堂から畑が見れず、残念がっている声が患者様から聞かれたりもしました。まだまだ新型コロナウイルスやインフルエンザなどに注意していかなければならず、大人数や長い時間でのレクリエーションはできませんが、現在の建物の構造を活かし、季節の飾りつけやミニレクリエーションを行い、患者様の生活が心地よいものとなるよう取り組んでいます。

昨年の5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられました。しかし様々な面で完全解除には至らずご迷惑ご不便をおかけし申し訳ありません。

御家族の方の面会は患者様が喜ばれるのはもちろんですが、職員も御家族様の色々なお話しや思いを知ることができる機会となっています。その思いに寄り添い患者様や御家族様が安心して過ごせることができるよう努めてまいります。

本年もよろしくお願いいたします。

第3病棟看護長 蛭澤 みゆき



リハビリテーション

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は新棟が完成し、リハビリ室もリニューアルしました。窓が大きく広くて明るい造りになっています。また、癒しの場になるように観葉植物も置いています。

当院は、難病で長期入院の方も多くいらっしゃいます。リハビリもその傾向に合わせて、筋力訓練や生活訓練の他、患者会やレクリエーション等、様々な取り組みを今後も行っていきます。また、食事の飲みこみや姿勢にも、力を入れており、食べる楽しみをできるだけ長い期間提供できるよう、多職種で連携して患者様の希望に添えるように尽力していきたいと思っております。

また、昨年度は呼吸療法認定士を取得したスタッフがおり、呼吸器を使用している患者様や呼吸関連疾患の患者様にもこれまで以上に関わる事ができるようになりました。

新しい環境を活かし、様々な取り組みを行い、引き続き「当院へ入院して良かった」と思っていただけのような病院の一助となれるよう努めていきます。

本年もこれまで以上に患者様に喜んでいただけるよう努力していきたいと思っておりますのでリハビリ職員一同、よろしくお願いいたします。

リハビリテーション室係長 鎌田 義之



当院の音楽療法の取り組みについて

当院では神経内科医師（日本音楽療法学会認定の音楽療法士資格取得を目指している）と病棟職員やリハビリテーション（以下リハビリ）職員の共同で日々の活動に音楽療法を取り入れています。

当院には慢性期の神経難病患者様が多く入院されており、日常生活動作は車椅子～寝たきりの方がほとんどです。このような患者様に活用したい音楽療法の効果として①音楽に合わせて身体活動を促す、②言葉の出にくさを改善する、③心の安定化作用、④集団療法で社会性や協調性を維持・向上させる、こと等が挙げられます。リハビリでは個別診療時と、診療とは別にレクリエーション（以下レク）として音楽療法を行うこともあります。

作業療法士（以下OT）が医師と共同で行っているレクをご紹介します。OTが感じている患者様の問題点に対して促したい効果（目標）を選び、レク内容を作成します。内容として、歌唱・楽器活動・身体活動をバランスよく取り入れています。患者様の状態や障害の程度に応じて、患者様とスタッフの配置も考えます。その他、時間・選曲・楽器選び・小道具など細かな設定を行い、全体の雰囲気づくりをしていきます。実施後には、職員全員で振り返り、患者様の様子、個人目標を達成できたかを含め、良かった点と反省点を出し合います。他の職員からの視点・意見が参考になり、個別診療の発展にもつながります。

また昨年は、感染対策を行いながら、患者様に企画から司会進行まで行って頂く、患者様主体のレクも行ってみました。能動的な活動を通じて身体機能賦活につながるよう目標を立てて実施し、患者様のアドリブ満載の賑やかな楽しい会となりました。司会の患者様からの声かけにより、他の患者様へ波及し会話が多く生まれていました。こういった患者様から声の上がる、患者様主体の関わりは目指すところのひとつでもあります。

音楽療法を通じて、普段の療養生活では見られなかった、患者様の意外な一面が見られることがあります。「この歌だと普段は話さないのに発言が増えた。」「この方法では反応が薄かった。」こうした情報がリハビリ診療や療養生活の活性化にも役立ちますので、他職種と情報共有してケアの質を向上させていきたいと考えます。これからも患者様の療養生活が有意義になることを目指し、レベルアップしていきたいと思っております！

作業療法士 種岡 靖子



編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、社会全体に活気が溢れコロナ以前に戻りつつある中、インフルエンザや胃腸炎が前年の2倍から3倍で推移しています。

コロナ禍では感染対策が十分に行われていたが、気の緩みが次の感染症を引き起こす事になりかねないと感じました。

(中山 記)



小千谷さくら病院
脳神経難病センター

〒947-0041 新潟県小千谷市小栗田2732番地
電話(代表) 0258-83-2680
FAX 0258-83-4416
URL <http://www.sakurahp.com>
E-mail info-01@sakurahp.com
広報委員 小河 一義・和田 健・佐々木 寿恵・金子 翔一郎
種岡 靖子・反町 瑞輝・中山 克成